

気象集誌

第82巻 (平成16年) 総目次

2004

論文

Editorial	1	i
Xiaogu ZHENG・杉 正人・Carsten S. FREDERIKSEN: MRI-JMA 大気 大循環モデルによるアンサンブル気候実験における 季節平均場の年々変動と予測可能性	1	1-18
茂木耕作・上田 博・前坂 剛・篠田太郎・吉崎正憲・加藤輝之: X-BAIU-99期間中に東シナ海上で観測された併合する2本の 線状降水域の構造と発達過程第一部: メソ- β -スケールの構造と発達過程	1	19-44
茂木耕作・上田 博・前坂 剛・篠田太郎・吉崎正憲・加藤輝之: X-BAIU-99期間中に東シナ海上で観測された併合する2本の 線状降水域の構造と発達過程第二部: メソ- α -スケールの構造と 梅雨前線帯における収束強化過程	1	45-65
日下博幸・木村富士男: 単層都市キャノピーモデルの大気モデルへの結合 —理想化したケースの都市ヒートアイランド数値実験への影響—	1	67-80
片桐秀一郎・中島映至: AVHRR より得られた巻雲の光学特性の全球分布	1	81-99
塩竈秀夫・寺尾 徹・木田秀次: 南半球環状モードの維持および遷移過程に おける短周期擾乱による強制力の役割	1	101-113
Jae-Gwang WON・Soon-Chang YOON・Sang-Woo KIM・Anne JEFFERSON・ Ellsworth G. DUTTON・Brent HOLBEN: 韓国 GOSAN における, sun/sky radiometer とライダー観測から推定されるダストエアロゾルの 直接効果による放射強制	1	115-130
陽 坤・小池俊雄・石川裕彦・馬 耀明: 単一要素モデルを用いた GAME/Tibet 観測サイトにおける地表面エネルギー収支解析	1	131-153
Riyu LU: 夏季東アジアモンスーンを構成する気候要素間における南北方向の関係	1	155-165
野原大輔・田中 博: 非線形力学システムにおけるアンサンブル予報値の同化を 利用した予報モデルの開発	1	167-178
山田広幸・上田 博・菊地勝弘・真木雅之・岩波 越: 冬期季節風時の雪雲の 構造に違いをもたらす要因に関するデュアルドップラーレーダー観測	1	179-206
中井専人・中村健治・民田晴也・瀬古 弘: 東シナ海上の衰弱期クラウド・ クラスターの特徴: TRMM と航空機による同時観測	1	207-227
小倉義光・隈部良司・山本雅之: 総観規模の乾燥侵入によって強化された フェーン現象	1	229-240
Sibylle VEY・R. DIETRICH・K.-P. JOHNSEN・Jibylle MIAO・ G. HEYGSTER: AMSU-B データ, 地上型 GPS データ及び NCEP/ NCAR 再解析から求められた, 南極での対流圏の水蒸気の比較	1B	259-267
青梨和正・岩淵哲也・小司禎教・大谷 竜・市川隆一: 地上型マイクロ波放射計で 観測された可降水量変動の統計的研究	1B	269-275

中村 一・瀬古 弘・小司禎教・高層気象台・気象測器検定試験センター： GPS 可降水量との比較で判明したヴァイサラ RS80-A ゾンデと 明星 RS2-91 ゾンデの湿度計測の乾燥誤差	1B	277—299
小司禎教・中村 一・岩淵哲也・青梨和正・瀬古 弘・三島研二・板垣昭彦・ 市川隆一・大谷 竜：つくば GPS 稠密観測：事後残差の蓄積による GPS 視線遅延量解析の改善	1B	301—314
岩淵哲也・小司禎教・島田誠一・中村 一：つくば GPS 稠密観測：3 種の 解析手法で評価された位相残差マップの比較	1B	315—330
Michael MEINDL・Stefan SCHAER・Urs HUGENTOBLE Gerhard BEUTLER：欧州軌道決定センターにおける 大気遅延勾配の推定：グローバル解による結果	1B	331—338
瀬古 弘・中村 一・島田誠一：数値気象モデルの出力を用いた GPS 大気モデルの評価	1B	339—350
Seth I. GUTMAN・Susan R. SAHM・Stanley G. BENJAMIN・ Barry E. SCHWARTZ・Kirk L. HOLUB・Jebb Q. STEWART・ Tracy Lorraine SMITH：米国大気海洋庁予報システム研究所での 地上型 GPS 可降水量観測の迅速なリトリバルと同化： 天気予報へのインパクト	1B	351—360
Gerd GENDT・Galina DICK・Christoph REIGBER・Maria TOMASSINI・ Yanxiong LIU・Markus RAMATSCHI：ドイツにおける数値気象予報の ための GPS 水蒸気量の準リアルタイム監視	1B	361—370
Jan DOUŠA：地上型 GPS 気象学のための精密衛星軌道情報：Pecný 測地観測所に おける軌道決定の解析戦略と精度評価	1B	371—380
Jens WICKERT・Torsten SCHMIDT・Georg BEYERLE・Rolf KÖNIG・ Christoph REIGBER・Norbert JAKOWSKI：CHAMP 衛星による GPS 電波掩蔽観測：データ解析システムと鉛直大気分布の評価	1B	381—395
Ho-Fang TSAI・津田敏隆・George A. HAJJ・Jens WICKERT・青山雄一： CHAMP および SAC-C 衛星の GPS 掩蔽実験で観測された 赤道ケルビン波	1B	397—406
A. de la TORRE・津田敏隆・George A. HAJJ・Jens WICKERT：SAC-C および CHAMP の GPS 掩蔽データを用いた成層圏の大気重力波の活動度の グローバルな分布	1B	407—417
津田敏隆・Klemens HOCKE：GPS 掩蔽観測データを用いた中層大気および 電離圏の大気波動の解析	1B	419—426
Ashraf MOUSA・津田敏隆：GPS ダウンルッキング掩蔽データのための インバージョンアルゴリズム：シミュレーション解析	1B	427—432
青山雄一・小司禎教・Ashraf MOUSA・津田敏隆・中村 一：ダウンルッキング GPS 掩蔽データからの気温と水蒸気プロファイルの導出	1B	433—440
中村 一・小泉 耕・萬納寺信崇：気象庁メソスケールモデルへの GPS 可降水量の同化とその降水予報へのインパクト	1B	441—452
小泉 耕・佐藤芳昭：GPS 可降水量と TMI 可降水量のメソスケール 数値予報モデルへのインパクト	1B	453—457
Henrik VEDEL・Xiang-Yu HUANG：地上型 GPS データの数値予報への効果	1B	459—472

瀬古 弘・川畑拓矢・露木 義・中村 一・小泉 耕・岩淵哲也：降水予報に 対する GPS 水蒸気量とドップラーレーダ動径風のインパクト	1B	473—489
S.-Q. PENG・X. ZOU：地上型 GPS の天頂遅延量と雨量観測値の同化による 短時間雨量予報へのインパクト	1B	491—506
Y.-H. KUO・T.-K. WEE・S. SOKOLOVSKIY・C. ROCKEN・ W. SCHREINER・D. HUNT・R. A. ANTHES：GPS 掩蔽データの 解析および誤差評価	1B	507—531
X. ZOU・H. LIU・R. A. ANTHES・H. SHAO・J. C. CHANG・Y.-J. ZHU： AMSU 輝度温度データを使わないときの CHAMP 電波掩蔽観測の 全球解析と予報へのインパクト	1B	533—549
Lubomir P. GRADINARSKY・Per JARLEMARK：水蒸気分布の推定のための 地上型 GPS トモグラフィ：仮想データと実データを用いた解析	1B	551—560
野口 渉・吉原貴之・津田敏隆・平原和朗：移動セル法を用いたトモグラフィに よる GPS つくば稠密観測の水蒸気時空間分布推定	1B	561—568
瀬古 弘・中村 一・小司禎教・岩淵哲也：GPS 稠密観測で観測した雷雨に ともなうメソスケールの水蒸気分布	1B	569—586
Borys STOEW・Gunnar ELGERED：北欧の地上 GPS 観測網による 大気遅延パラメータの特徴	1B	587—596
坪木和久・浅井富雄：冬季日本海上に発生するメソスケール低気圧の多重構造と 発達メカニズム	2	597—621
浅野正二・吉田幸生・三宅行美・中村幸三：下向きおよび上向き放射フラックスの 同時観測のための短波・長波放射ゾンデの開発	2	623—637
吉田幸生・浅野正二・山本 哲・折笠成宏・山崎明宏：短波・長波放射 ゾンデ観測による中緯度の前線に伴う水雲の放射特性	2	639—656
Riyu LU・Beak-Jo KIM：北半球夏季の STCZ における季節的な ロスビー波の成因	2	657—669
青梨和正・山崎信雄・釜堀弘隆・高橋清利・劉 発華・吉田和雄： TMI 降水タイプと降水強度データの全球モデルへの変分法を用いた同化	2	671—693
George Tai-Jen CHEN・Iu-Man TANG：台湾北部における 夏季ヘイルストームの生成と特性	2	695—709
管野洋光：北日本の夏季の天候に認められる1982年以降の5年周期変動	2	711—724
足立アホロ・小林隆久・加藤輝之：デュアルウインドプロファイラーによる 九州南部に発生した線状対流系の観測	2	725—743
阿部 学・安成哲三・鬼頭昭雄：北半球夏季の熱帯インド洋及び太平洋の 大気海洋結合システムにおける大規模山岳の効果	2	745—759
Yunying LI・Rucong YU・Youping XU・Xuehong ZHANG：地上観測に基づく 中国上空の雲の空間分布および季節変動	2	761—773
翁 衡毅・住 明正・高菺 緑・木本昌秀・李 崇銀：1951-2000年の中国・ 日本における夏季の極端な湿潤/乾燥と大規模大気循環との 年々～数十年変動について 第一部：空間パターン	2	775—788
翁 衡毅・住 明正・高菺 緑・木本昌秀・李 崇銀：1951-2000年の中国・ 日本における夏季の極端な湿潤/乾燥と大規模大気循環との 年々～数十年変動について 第二部：卓越時間スケール	2	789—804

岩崎博之：夏期の谷川岳周辺における二つの極大を持つ可降水量と 対流活動の日変化……………	2	805—816
Timothy J. LANG・Ana P. BARROS：中央ヒマラヤの冬季擾乱……………	3	829—844
Jiangyu MAO・Johnny C. L. CHAN・Guoxiong WU：夏の南シナ海モンスーンの オンセットとアジア域の亜熱帯高気圧性循環の構造との関係……………	3	845—859
安永数明・木田秀次・里村雄彦・西 憲敬：TOGA COARE の積雲対流による トレーサのデトレインメントに関する数値的研究……………	3	861—878
西澤誠也・余田成男：地形が環状変動に及ぼす影響に関するパラメータ走査実験……………	3	879—893
播磨屋敏生・児玉裕樹・村本健一郎：雪片粒径分布の地域差……………	3	895—903
小木雅世・立花義裕・山崎孝治：冬季の北大西洋振動と夏季の オホーツク海高気圧の関係……………	3	905—913
橋口浩之・深尾昌一郎・森谷優貴・若山俊夫・渡邊伸一郎： 下部対流圏レーダー：RASS 機能付き1.3 GHz アクティブ・ フェーズドアレイ型ウインドプロファイラー……………	3	915—931
Shuanglin LI：初冬のウラル山脈上の循環に与える 北西大西洋海面水温アノマリの影響……………	4	971—988
Kavirajan RAJENDRAN・T. N. KRISHNAMURTI・V. MISRA・W.-K. TAO： 全球スペクトルモデルのための経験的積雲対流スキーム……………	4	989—1006
時長宏樹・谷本陽一：エルニーニョおよびインド洋ダイポール現象時の 熱帯インド洋における海面水温偏差の季節遷移……………	4	1007—1018
榎本 剛：アジアジェット上のロスビー波の伝播に伴う小笠原高気圧の年々変動……………	4	1019—1034
勝俣昌己・米山邦夫：西部熱帯太平洋の熱帯収束帯におけるメソ対流系の 内部構造及び関連する環境場について：観測事例の解析……………	4	1035—1056
吉原華子・川島正行・新井健一郎・猪上 淳・藤吉康志：ドップラーレーダ観測に よる北陸沿岸の収束線上における降雪バンドの連続的発達に関する研究……………	4	1057—1079
青木忠生：加重関数を経験的直交関数で表すことによる大気微量気体測定装置の チャンネル圧縮……………	4	1081—1093
歌 驛・山田広幸・Krishnareddigari Krishna REDDY・上田 博・藤吉康志： 梅雨期における長江下流域で観測された強雨をもたらした レインバンドの構造と発達過程……………	4	1095—1115
Yoo-Jeong NOH・Guosheng LIU・Natasa BALAS・青梨和正・小池俊雄： 冬季若狭湾における降雪の日変動……………	4	1117—1128
長谷部文雄・古谷田弘子：サンクリストバルとシンガポールにおける ラジオゾンデ観測により得られた熱帯大気の力学的特性……………	4	1129—1145
財前祐二・岡田菊夫・池上三和子・澤 庸介・牧野行雄：北西太平洋上空の 自由対流圏で測定されたエアロゾル粒径分布について： アジア大陸と熱帯からの空気の影響……………	4	1147—1160
堤 之智・森下秀昭・吉田雅司・斎藤篤志・小田嶋孝一・鈴木健司・居島 修： 2002年3月から4月にかけて日本の4か所のサンフォトメータにて 観測されたエアロゾルイベントの解析について……………	4	1161—1172
Feng XUE・Huijun WANG・Jinhai HE：マスカレン 高気圧とオーストラリア高気圧の年々変動およびそれらが 東アジア夏季モンスーンに及ぼす影響……………	4	1173—1186

Seung-Ki MIN・E-Hyung PARK・Won-Tae KWON：複数の大気海洋結合モデルによる IPCC SRES シナリオのアンサンブルを用いた東アジアの気候変化将来見通し	4	1187—1211
久保田尚之・沼口 敦・江守正多：熱帯海洋上の対流活動の日変化のメカニズムに関する数値実験	5	1245—1260
柳瀬 亘・新野 宏：対流加熱を伴う非地衡流・非静水圧の傾圧不安定波の構造とエネルギー収支	5	1261—1279
田中 博・松枝未遠：大気の大気成分で評価した近年の異常気象の解析	5	1281—1299
In-Hyuk KWON・Hyeong-Bin CHEONG・Minsu JOH・Il-Ung CHUNG・Chun-Ho CHO・Woo-Jin LEE：二重フーリエスペクトル法の大規模問題への適用：球面上のシア不安定の2次元シミュレーション	5	1301—1314
芳村 圭・沖 大幹・大手信人・鼎信次郎：色水解析を用いた1998年のアジアモンスーンに伴う水起源変動の推定	5	1315—1329
山岬正紀：1993年2月22日 TOGA COARE で観測されたスコールライン—GCSS モデル比較実験のケースに関する研究	5	1331—1363
吉崎正憲・加藤輝之・永戸久喜・林 修吾・Wei-Kuo TAO：2001年日本海の冬季メソ対流系観測における天気概況と、寒気吹き出し(1月14日)に関する解析と数値実験の比較	5	1365—1387
Zhaoxia PU・Wei-Kuo TAO：TMI 降水量データの4次元変分法によるメソスケール同化：感度研究	5	1389—1397
立花義裕・岩本拓也・小木雅世・渡部洋平：極向き温度勾配の特殊性とオホーツク海高気圧の関連	5	1399—1415
藤谷雄二・村尾直人・太田幸雄・山形 定・遠藤辰雄：2002年西部太平洋域における大気エアロゾルの光学特性および化学組成観測	5	1417—1434
二宮洗三・西村照幸・榎本 剛・鈴木恒明・松村伸治：大気大循環モデルでシミュレートされたアジア大陸東岸の寒気内メソスケール低気圧の発生と発達	5	1435—1446
中島健介・豊田英司・石渡正樹・竹広真一・林 祥介：局在する暖水域に対する熱帯降水構造の初期形成：水惑星アンサンブル実験	6	1483—1504
常松展充・甲斐憲次：夏季晴天日中濃尾平野における地上風収束域付近の雲分布の時間変化	6	1505—1520
Ching-Sen CHEN・Wan-Chin CHEN・Wei-Kuo TAO：地形効果に関係する台湾南西部の夏季豪雨の特徴	6	1521—1543
藤波初木・安成哲三：北半球夏季のチベット高原上とその周辺部における対流活動と循環場の数週間変動	6	1545—1564
Yushu ZHOU・Shouting GAO・Samuel S. P. SHEN：東アジアにおけるMeiyu 前線系の生成と構造の診断的研究	6	1565—1576
Yuqing WANG・L. Ruby LEUNG・John L. McGREGOR・Dong-Kyou LEE・Wei-Chyung WANG・Yihui DING・Fujio KIMURA：領域気候モデル：その現状と今後の課題	6	1599—1628
J.-H. OH・T. KIM・M.-K. KIM・S.-H. LEE・S.-K. MIN・W.-T. KWON：ダウンスケーリングおよび統計的調節法を用いた韓国での領域気候シミュレーション	6	1629—1643

Johnny C. L. CHAN・Yiming LIU・K. C. CHOW・Yihui DING・ William K. M. LAU・K. L. CHAN：中国南部の夏期モンスーンによる 降水の再現実験のための領域気候モデルの設定と感度実験……………	6	1645—1665
Wen-Yih SUN・Jiun-Dar CHERN・Michael BOSILOVICH：アメリカ合衆国に おける1988年夏季の旱魃に対する数値シミュレーション……………	6	1667—1678
Omer Lutfi SEN・Bin WANG・Yuqing WANG：中国北西部の砂漠の再緑化の 気候影響：領域気候モデルによる考察……………	6	1679—1693
L. Ruby LEUNG・Shiyuan ZHONG・Yun QIAN・Yiming LIU：GAME/HUBEX 観測データを用いた領域気候モデルによる1998年と1999年の夏季 モンスーンのシミュレーション評価……………	6	1695—1713
Huang-Hsiung HSU・Yi-Chiang YU・Wen-Shung KAU・Wu-Ron HSU・ Wen-Yih SUN・Chi-Hua TSOU：Purdue 領域モデルによる1998年夏季の 東アジアモンスーンのシミュレーション……………	6	1715—1733
Dong-Kyou LEE・Dong-Hyun CHA・Hyun-Suk KANG：1998年夏季に 東アジア域で生じた洪水の領域気候モデルによる再現実験……………	6	1735—1753
Dodla Venkata BHASKAR RAO・Karumuri ASHOK・Toshio YAMAGATA： 1994年夏のインドモンスーンの NCAR MM5を用いた 数値シミュレーションによる研究……………	6	1755—1775
Kun YANG・Toshio KOIKE・Hideyuki FUJII・Toru TAMURA・Xingde XU・ Lingen BIAN・Mingyu ZHOU：チベット高原における大気境界層と 対流の日中の変動：観測とシミュレーション……………	6	1777—1792
Gang FU・Yihong DUAN・Xudong LIANG・Shang-Ping XIE：2001年8月5日に 上海で生じた強い降雨イベントの観測……………	6	1793—1803

要報と質疑

鼎信次郎・沖 大幹・檉田 爽：1890年から1999年の時間降水量から見た 東京の大雨の変化……………	1	241—247
金久博忠： $\nabla\theta\times u$ の方向の渦度成分に関連した保存量……………	1	249—254
余 偉明・小川 智・岩崎俊樹・王 自発：海風前線の夜間のフロントジェネシスに 関する数値実験……………	2	817—823
Gunter ENTZIAN・Dieter PETERS：北半球の大規模波動による経度依存する オゾン輸送の季節サイクル……………	3	933—940
Yvan J. ORSOLINI：北太平洋と北大西洋の間に見られるオゾンのシーソー変動 ……	3	941—949
井上知栄・松本 淳：1960～99年のユーラシア東部における NCEP-NCAR 再解析と ERA-40との夏季海面気圧の比較……………	3	951—958
E. S. CHUNG・B. J. SOHN・V. RAMANATHAN：背の高い積雲による 上部対流圏の加湿過程：熱帯インド洋上空の事例解析……………	3	959—965
久保田拓志・寺尾 徹：熱帯平均対流圏温度の季節規模持続性に 関する数十年規模変動……………	4	1213—1221
木村詞明：南極海の海水の動きと海上風および海流との関係……………	4	1223—1231
鈴木力英・増田耕一：アジア北部における実蒸発微量と植生指数の経年変化に現れた 共変動性……………	4	1233—1241

渡来 靖・田中 博：北太平洋ブロッキングの形成過程における鉛直平均流とシアー流の局所エネルギー解析	5	1447-1458
傍嶋 明・浅野正二・岩瀬弘信：NOAA/AVHRR データを用いたアジア太平洋域におけるエアロゾルの季節変動と長期変動の解析	5	1459-1468
Song-You HONG：韓国と米国中部の豪雨メカニズムの比較	5	1469-1479
若林成治・川村隆一：日本の夏季の異常気象に関連する遠隔伝播パターンの抽出	6	1577-1588
和田直也・川田邦夫・川村隆一・青木一真・久米 篤：日本中部・中緯度山岳域における冬季河川流量の増加	6	1589-1597

学会誌「天気」の論文・解説リスト

学会誌「天気」の論文・解説リスト (2003年11月号・12月号)	255
学会誌「天気」の論文・解説リスト (2004年1月号・2月号)	825
学会誌「天気」の論文・解説リスト (2004年3月号・4月号)	967
学会誌「天気」の論文・解説リスト (2004年5月号・6月号)	1243
学会誌「天気」の論文・解説リスト (2004年7月号・8月号)	1481
学会誌「天気」の論文・解説リスト (2004年9月号・10月号)	1805



一覧表

気象庁研究時報56巻3-4号合併号の内容案内	45
人間-生活環境系国際会議 International Conference on Human-Environment System (ICHES '05) のお知らせ	63
ナウキャストと短時間予報に関する世界天気研究計画 (WWRP) 国際シンポジウムのご案内	64